

第38回： 水辺の生態環境の保全と修復

開催日： 2000年2月28日(月)～29日(火) / 会場： 「大田区産業プラザ」東京都

開催趣旨： 今日の水辺生態系は、開発の結果として汚濁が進み、本来あるべき姿から大きくかけ離れてしまったものも多く存在します。また従来は主として災害防止の観点から行われてきた河川流域・沿岸域などの治水事業についても、生態系への配慮が必要と考えられ始めています。そこで、種々の生態系保全・修復のための技術が提唱され、実施に移された例も多くありますが、長期間にわたって健全な生態系を維持することは極めて困難であるのが現状です。

今回のセミナーは、水辺生態系についての概説の上に、現在までの保全修復の実施例を総括し、今後の展望を示すことを目的とします。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 河畔林という生態環境（中村太士／北海道大学大学院農学研究科）
- 水辺生態環境としての農地（守山弘／農水省農業環境技術研究所）
- 河口堰という生態環境（西條八束／名古屋大学名誉教授）
- 湿原という生態環境（岩熊敏夫／北海道大学大学院地球環境科学研究科）
- 都市域における自然修復のための河川事例とその課題（土屋十圀／前橋工科大学建設工学科）
- 河川・湖沼における環境修復の成果と課題（桜井善雄／応用生態学研究所）
- 米国におけるウェットランド代償ミティゲーションとその背景（田中章／ウェールズ大学通信制大学院日本校）
- 沿岸域の環境修復の成果と課題（中村由行／運輸省港湾技術研究所）